

■研究課題

2型糖尿病における前高血圧と動脈硬化指標との関連性の検討

■研究の趣旨

日本人の死因の約 3 割は動脈硬化性疾患であり、動脈硬化を予防・治療することは重要です。糖尿病患者においても心血管疾患の予防のためには高血圧治療が重要であり、日本高血圧学会では糖尿病患者の降圧目標を 130/80mmHg 未満としています。

日本人は欧米人に比較して心臓血管疾患（狭心症、心筋梗塞など）よりも脳血管疾患（脳卒中、クモ膜下出血など）の発症リスクが高いことが知られています。しかしながら、これまでの多くの高血圧治療の研究は欧米人を対象とした検討であり、日本人を対象とした研究は少なく、血圧と動脈硬化に関する日本人固有のエビデンスは乏しいのが現状です。

■研究の目的

本研究の目的は、2型糖尿病における血圧と動脈硬化指標との関連性を明らかにし、高血圧の前段階にある前高血圧症（血圧 120-139/80-90mmHg）が動脈硬化リスクになるか否かを検討することです。

■研究の方法

2005 年から 2015 年の間に、2型糖尿病治療のために当科に入院し、血圧測定、糖代謝指標、動脈硬化指標、動脈硬化リスク因子（血圧、脂質）、糖尿病合併症の検査をされた患者さんの検査データを収集します。その過去のデータを用いて、血圧と動脈硬化指標との関連性を統計学的に解析します。

■連絡先

本研究に関する連絡先は以下の通りです。本研究は収集した過去のデータから患者さんの個人情報に削除し、匿名化した後に解析を行いますので、個人情報の漏洩の危険性はありません。本研究について疑問がある方は遠慮なくご連絡ください。

島根大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 助教 金沢一平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2183

FAX: 0853-23-8650